

平成 2 7 年度

「運営に関する計画」  
〈最終反省〉

大阪市立淀川中学校

平成 2 8 年 3 月

## 大阪市立淀川中学校 平成 27 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

平成 25 年度「全国学力・学習状況調査」において、平均正答率は大阪市平均と比べ、国語ではほぼ同等、数学で 5 ポイント程度上回った。しかし国語では「書くこと」の領域が弱く、自分の考えや意見をまとめ効果的に伝える力をつける必要がある。数学では「資料の活用」の領域が弱く、目的に応じて資料の読み取り、整理により問題解決できる力をつける必要がある。

また、質問紙調査において、朝食を食べていない生徒が大阪市平均より 4 ポイント以上も低く 84% であった。基本的な生活習慣、家庭学習習慣を改善する必要がある。

**中期目標****【視点 学力の向上】**

- 「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を大阪市平均より、国語で 2、数学で 6 ポイント以上上回る結果とする。(カリキュラム改革関連)
- 「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している (どちらかといえばしている)」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)
- 「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICT を積極的に活用する。特に平成 27 年度「全国学力・学習状況調査」の理科において平均正答率を、大阪市平均より 2 ポイント以上上回るようにするために実験・観察の授業で最新の ICT を駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である (ほぼ積極的である)」と回答する生徒の評価を 70% 以上にする。(カリキュラム改革関連)

**【視点 道徳心・社会性の向上】**

- 「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる (どちらかといえば当てはまる)」と答える生徒の割合を 90% 以上維持し続ける。(カリキュラム改革関連)
- キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。校内アンケートにおいて「勤労の尊さを実感した (どちらかといえば実感した)」という生徒の評価を 90% 以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「5 分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ (少しは役立つ)」と回答する生徒の評価を 90% 以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。(ガバナンス改革関連)

**【視点 健康・体力の維持増進】**

- 「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない (あまり食べていない)」と答える生徒の割合を 10% 以下にする。

- 本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。（カリキュラム改革関連）

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を大阪市平均より、国語で1、数学で5ポイント以上上回る結果とする。（カリキュラム改革関連）
- 「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。（カリキュラム改革関連）
- 「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICTを積極的に活用する。特に平成27年度「全国学力・学習状況調査」の理科において平均正答率を、大阪市平均より2ポイント以上上回るようにするために実験・観察の授業で最新のICTを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である（ほぼ積極的である）」と回答する生徒の評価を70%以上にする。（カリキュラム改革関連）

### 【視点 道徳心・社会性の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。校内アンケートにおいて「勤労の尊さを実感した（どちらかといえば実感した）」という生徒の評価を85%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目につて、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を90%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。（ガバナンス改革関連）

### 【視点 健康・体力の維持増進】

- 「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答える生徒の割合を10%以下にする。（カリキュラム改革関連）
- 本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- 「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。

大阪市立淀川中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【視点 学力の向上】</b> ○「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を大阪市平均より、国語で1、数学で5ポイント以上上回る結果とする。 （カリキュラム改革関連） ○「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。 （カリキュラム改革関連） ○「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICTを積極的に活用する。特に平成27年度「全国学力・学習状況調査」の理科において平均正答率を、大阪市平均より2ポイント以上上回るようにするために実験・観察の授業で最新のICTを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である（ほぼ積極的である）」と回答する生徒の評価を70%以上にする。 （カリキュラム改革関連）	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【各教科(特に国語・数学・理科・英語)の指導法の改善】 基礎基本の徹底、理科を中心とした興味・関心を高めるためのICTを活用した授業の推進。習熟度別授業の充実、小学校の英語指導の改革を受けての英語授業の改善。 （カリキュラム改革関連） 指標 ICTについては理科において書画カメラや実験観察用計測・処理システムを駆使した授業を推進する。英語については小中連携を通じて小学校の状況を把握し、音声指導を中心に授業を工夫する。	B
取組内容②【自主学習習慣の確立】 主体的な学習習慣が身につくような小テスト・レポート・宿題を実施する。 （カリキュラム改革関連） 指標 小テストの実施やレポートのきめ細かな点検と指導。学年だより等による家庭教育の啓発	C
取組内容③【授業研究を伴う校内研修の充実】 ○JT授業を効果的に活用した研究授業を充実させ、またこれに加え、土曜授業における参観授業の指導案作成の推進。 （学校サポート改革関連、ガバナンス改革関連） 指標 年間12回以上の研究授業の実施、すべての学期で複数の研究授業を行う。	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

○「全国学力・学習状況調査」では平均正答率が国語ＡＢとも約３％、数学Ａでは８％、Ｂでは９％、大阪市より下回っている。理科でも７％、全国平均と比較すると１１％下回っている。

○「国語は好き」肯定的回答が６０．３％（大阪市５９．１％、全国６０．５％）「数学は好き」肯定的回答が３７．３％（大阪市５２．７％、全国６６％）「理科は好き」肯定的な回答が４２．９％（大阪市５４．６％、全国６１．９％）この結果は国語に比べ数学及び理科の成績が低いことに一致している。しかし、「数学の勉強は大切だ」の肯定的回答は７３％「数学ができるようになりたい」は８５．７％でともに大阪市、全国とあまり変化はない。意欲や関心はあるが、基礎的な学習が習得できていないため、現在の学習はわからないため、「嫌い」と回答しているのではないか。

○理科でＩＣＴを活用した授業を積極的に行っている。生物・鉱物・さらに実験方法や器具の操作方法の紹介など、様々な折に活用し、分かりやすい授業に努めている。

○英語では全学年ともＣ－ＮＥＴと共同授業を行い、音声授業を充実させ、コミュニケーション能力の育成に努めた。

○教員の授業力向上の取り組みとして教員相互による授業研究や土曜授業での地域・保護者対象の授業公開などを実施した。

#### 次年度への改善点

○基礎的な学力の充実に努めるとともに、学習意欲を喚起するように努め、評価方法を工夫し「やればできる」という意識を持たせるように努める。

○発達に応じた学習プリントを生徒が自由に選択できる環境を整えるなど、課題の与え方を工夫し、自主的な学習の定着を図る。

○ＩＣＴの活用を生徒主体のものに広げる。具体的にはタブレット等を利用し生徒の調べ学習や成果の発表に利用する。

○本年の２学期より週１度の図書館の指導員が配置され、図書の実と環境整備が進められ、授業での積極的な活用が進められている。言語力の向上を目指した各教科による効果的な活用に努めたい。

## 大阪市立淀川中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【視点 道徳心・社会性の向上】</b> ○「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ○キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。 (カリキュラム改革関連) ○本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目につて、「役立つ(少しは役立つ)」と回答する生徒の評価を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ○生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。 (ガバナンス改革関連)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【道徳教育のさらなる推進】 体験的な学習も含め道徳教育を推進するとともに、すべての教育活動を通して規範意識を高める。 (カリキュラム改革関連) 指標 全国学習状況調査の質問紙の「学校のきまりを守っていますか」の回答において、守っている(ほぼ守っている)の割合を90%以上にする。	B
取組内容②【安全教育の推進】 予鈴前登校や挨拶運動の推進。 毎日、多数の教員による登校指導の実施と安全点検。 (カリキュラム改革関連) 指標 全国学習状況調査やアンケートでの評価を前年度以上にする。	A
取組内容③【キャリア教育の推進】 職業講話等を実施し、勤労の尊さを実感させ、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。 (カリキュラム改革関連) 指標 全国学習状況調査の関連項目での割合を前年度以上にする。	B
取組内容④【その他、開かれた学校をめざして生徒のようすを地域へ発信する】 開かれた学校をめざした土曜授業・学校HP・学校行事、そして地域行事への関わりを深める。吹奏楽部の活動を地域行事等で充実させる。 (ガバナンス改革関連) 指標 「校長室だより」を毎月学校HPに掲載し、常に地域からの声を聞く。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>○生徒向けアンケート「5分前登校や・・・」の肯定的回答は92%と目標値を越えることができた。また「学校の規則を守っていますか」の肯定的回答は92.8%で数字の上では目標を越えている。日々の登校指導や全校・学年集会の実施、生徒会活動の充実など、日々の教育活動に対する地道な努力の結果ととらえたい。</p> <p>○道徳の教科化に向けて、道徳教育に関する研修を年間3回実施し、道徳教育の目指すものや教材の発掘・指導案の作成・授業研究を行った。</p> <p>○安全指導についてはほとんどの教員が予鈴前登校指導やあいさつ運動によって登校指導を行った。また生活指導部を中心に校区内を定期的に巡視し、安全の確保に努めた。</p> <p>○1・2年生においてさまざまな業種の方々を講師として招き、職業講話を実施した。また、専門学校の協力を得、職業適性に関する授業を実施し、職業について考えることができた。</p> <p>○年間6回、土曜授業を実施した。その内容は公開授業、地域との合同防災学習、平和学習、性教育などをおこなった。</p> <p>○生徒・保護者向けに学年だより・学級だより・保健室だよりを定期的に作成した。また、校長室だよりを各町会向けに発行した。また、学校ホームページをほぼ週3回のペースで更新し、様々な情報発信と日々の学校公開に努めた。</p> <p>○吹奏楽部は各種の地域行事や校内でのたそがれコンサートなどに積極的に出場し、地域との連携を深めた。</p>
次年度への改善点
<p>○登校指導については現在の取り組みを継続して実施すると同時に、生徒自らに規則を守ることの大切さに気づかせ、生徒の自主性の育成につなげたい。</p> <p>○年間指導計画を作成し、本格実施に向けて各学年とも道徳の授業を計画的に実施する。</p> <p>○現在行っている職業講話の他に、職場体験、職業について考える授業など、高等学校やハローワークなどの機関とも連携し、3年間を見通したキャリア教育に関する指導計画を作成する。</p> <p>○現在行っている保護者・地域への情報発信と学校公開を今後とも継続し、地域との連携をさらに深める。</p>

## 大阪市立淀川中学校 平成 27 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【視点 健康・体力の維持増進】</b> ○「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答える生徒の割合を 10%以下にする。 (カリキュラム改革関連) ○本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を 85%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ○「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。 (カリキュラム改革関連)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【食育・健康な生活習慣の確立】 保健だよりや食育通信等により啓発活動を推進し、健康な生活習慣を確立する。 (ガバナンス改革関連) 指標 全国学習状況調査の割合を改善する。	B
取組内容②【健康に関する今日的課題への対応】 生命尊重、男女平等を基本とした性教育の取り組みや講演会等の実施。 (カリキュラム改革関連) 指標 全国学習状況調査の関連項目での割合を前年度以上にする。	B
取組内容③【体育活動の充実】 土曜授業においてトップアスリートを招いての講話や体験活動等を行い、運動に親しみ運動に対する意識を高める。体育授業のさらなる充実。 (ガバナンス改革関連、カリキュラム改革関連) 指標 生徒アンケート等の結果。「全国体力・運動能力・運動習慣調査」で前年度以上の結果をめざす。	C
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
○「朝食を毎日食べていますか」で肯定的回答は 88, 1% (大阪市 90.7%、全国 93.5%) 大阪市、全国平均ともに若干下回った。 ○保健だよりや食育だよりを通じて、食の重要性についての啓発を行ってきた。また家庭科等の教科授業でも食育を実践してきた。 ○生徒アンケート「生命尊重や・・・」の肯定的回答は 82%で目標の 85%を下回った。 ○2 年ではティーンズヘルスセミナー、1 年では大阪府助産士会の協力によって、3 年生では WYSH プロジェクトによる性教育をおこなった。1 年生では生命の誕生、2 年生では男女交際や	



<p>デートDVについて考え、3年生では性感染症についての正しい知識を持たせると同時に、将来の夢や幸せについて考えさせた。それぞれ発達段階に応じた授業を展開した。</p> <p>○淀川区役所から講師をお招きし、LGBTについての教職員対象の研修会を実施した。</p> <p>○全国体力・運動能力・運動習慣等調査」での体力テスト結果では男子は長座体前屈・シャトルラン以外の平均値が大阪市平均・全国平均をともに上回った。一方女子はハンドボール投げ以外は大阪市平均・全国平均とほぼ同じか、または下回っている。これは女子の運動部の入部率の低下とも関係しているのではないかと考えられる。</p> <p>○年間指導計画に基づいた体育の授業を展開し、スポーツをすることの楽しさを実感させる授業を展開した。また、部活動では体力の増強とともに仲間やチームワークの大切さにも気づくことを大切に取り組んだ。</p>
<p>次年度への改善点</p>
<p>○食を取り巻く現状や未来について考えさせるなど、各教科で意識的に食に関する分野を取り上げ、様々な角度から食について考えさせ、さらに食の大切さや様々な現代社会における問題点について考える姿勢を育てる。</p> <p>○現在行っている性教育や命の大切さを学ばせる取り組みや薬物乱用防止教室などを継続的に実施する。</p> <p>○本年度実施できなかったが、トップアスリートを招いての体験授業等を実施したい。</p> <p>○地域、関係機関等との連携を視野に入れた、部活動の存続と発展について多方面からの検討が必要である。</p>